

令和2年度 福井県立福井商業高等学校 学校評価書

| 項目 | 具体的取組 | 成果と課題 | 改善策・向上策 |
|-------------------------|--|---|---|
| 1 教育課程 学習指導 研修 | <p>①分かる授業を推進するため、公開授業週間を実施し、教材研究・授業研究を充実させ、指導力の研鑽と研究・工夫を継続的に行う。</p> <p>②生徒の学力向上を図るため、小テストなどを実施し、また課題の取組状況を確認する。さらに成績不振の生徒に対しては、補習等で時間をかけて丁寧に指導する。</p> | <p>・全教科で公開授業に取り組み、互いの授業改善に活用している。教員のアンケート結果から、「わかる授業」について「大変良い」「おおむね良い」を合わせて98.3%となっている。また生徒の授業への理解度アンケート結果からも、「大変良い」「おおむね良い」を合わせて91.0%となっており、成果がうかがえる。</p> <p>・教職員の小テストの実施等は、「大変良い」「おおむね良い」を合わせて93.1%となっており、目標値を上回った。また生徒の課題への取り組みについても95.1%と、与えられた課題について意欲的に取り組んでいる。</p> | <p>・公開授業を積極的に実施し、わかる授業を推進するために、さらに相互研鑽を積み、指導力の向上を図る。</p> <p>・生徒の学力向上を図るため、各教科、学年会等で十分検討し、単元毎の小テストの実施や課題の提出、補習や個別指導をとおして丁寧に指導する。また生徒の家庭学習の今以上の充実を呼びかける。</p> |
| 2 生徒指導 | <p>①全教員による容儀検査を各学期3回実施する。定期的な容儀検査だけでなく、徹底した事前・事後指導を行う。また、交通安全指導においては、事故防止の指導と同時に、自他の生命を尊重する精神を培う。情報モラル教育を通して、よりよい人間関係の構築をめざし、倫理観を養う。</p> <p>②生徒会活動を通して、自主自律の精神を養う。また、保護者との相互理解を深めながら部活動の活性化を図るとともに勉学との両立を目指し生徒の心身の向上を促す。</p> | <p>・「身なり指導」「交通安全指導」「情報モラル指導」のすべてにおいて、目標値を大きく超えた良好な成果があがっている。</p> <p>・登下校時の自転車事故を減らすために、保護者・地域・警察と連携を深め、交通安全指導を徹底する必要がある。</p> <p>・交通事故時および不審者遭遇時の対応の仕方について、今後も周知徹底を図りたい。</p> <p>・情報モラル講演会は今年度は実施できなかった。そのためか、A+Bの数値が教員・保護者で1～3%減じた。一斉指導は難しいためパンフレット等を通しての啓発活動を行うなどの工夫が必要であった。</p> <p>・相談室と綿密に連携しながら、いじめ等の生徒間トラブルに対処した。</p> <p>・学校行事の生徒の満足度については、大変良い・良いの割合が91.8%となり、コロナ禍の中で工夫しながら積極的に取り組み、充実感を得ているとうかがえる。教員においても、生徒会・部活指導の項目では93.3%が良いとしている。一方、保護者については、3割前後で良くないという評価が見受けられる。遠足の中止や修学旅行の変更などの影響に加え、生徒会・学校行事・LHは各活動は家庭で話題にならないことが原因と考える。</p> | <p>・「身なり指導」については、今後も朝の登校指導などで粘り強い指導を行っていく。</p> <p>・交通社会の一員としての意識をさらに高め、自他の生命を尊重するという理念を育てるための地道な指導を今後も継続して行う。</p> <p>・来年度は、SNS事業者による情報モラル講演会を4月に予定している。保護者とも連携しながらSNS利用等の指導に継続して取り組む。</p> <p>・来年度もいじめ対策委員会を定期的に開催し、問題の早期発見に努める。</p> <p>・学校行事については、来年度もコロナ禍影響を受けるとも考えられるが、企画・運営・費用を工夫をしつつ取り組みたい。LHや生徒会活動については、ボランティアや生徒の親睦を深める活動を増やし、自主的・主体的な活動の幅を広げたい。左の課題を克服するには、ホームページの充実やポスター掲示など、保護者に理解いただく機会を増やす必要がある。</p> |
| 3 進路指導 | <p>①生徒の主体的な進路実現のために適切な支援を行う。</p> <p>②進路に関する情報を充実させ、生徒の実態に即して提供する。</p> | <p>・休校の影響によりオンラインでの情報提供も多かったが、生徒達の進学に対する意欲は高かった。</p> <p>・保護者に対する進路情報提供の満足度は1年生で昨年度並みの54.9%であった。さらにきめ細かい情報提供が必要だと思われる。全学年では75.9%で期待値70%を上回った。特に3年生の保護者は96.4%、生徒も93.3%が満足と解答しており、納得のいく進路実現ができたと思われる。</p> | <p>・3年間を通して適切な時期に進路ガイダンスを設定し、自分の適性や進路を考える機会を与える。ガイダンス内容のさらなる充実を図る。</p> <p>・生徒から保護者に確実に情報が届くように意識向上を促す。</p> <p>・保護者対象進路ガイダンスを行い、学年に応じた内容を適切な時期に提供できるように検討し実施していく。</p> |
| 4 保健管理 | <p>①清掃の指導や監督を行い、生徒が環境美化に取り組む姿勢を育成する。また、ゴミ分別の指導を行い、保護者・生徒とともにリサイクル活動の推進を図る。</p> <p>②保健調査や定期健康診断の結果をもとに、適切な保健指導を行う。また、保健だよりなどの発行を通じた啓発活動により、保健知識の普及を図る。</p> | <p>・教員の清掃指導、保健指導とも期待値を大きく上回った。本校では、生徒と教員が一丸となって保健管理に取り組んでいることがわかる。保護者からも環境美化・保健指導とも高評価であった。</p> <p>・自己の健康管理意識の高い生徒が多く見られる。新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防の指導を通して、さらなる保健知識の啓発に努めたい。</p> | <p>・学校環境の美化は健康を維持するためにも重要であるという生徒の意識を育てたい。</p> <p>・ゴミの分別を徹底するためのより効果的な対策を考え、各クラスに今後とも周知していきたい。</p> <p>・新型コロナウイルスをはじめ夏季の熱中症、冬季のインフルエンザ等の感染症予防について、来年度も『保健だより』などを通して啓発していきたい。</p> |

| 項目 | 具体的取組 | 成果と課題 | 改善策・向上策 |
|-------------------------|--|--|---|
| 5 保護者との連携 教育環境の整備 | <p>①PTA活動や学校行事に関する情報発信を行い、保護者と教職員の連携を深めるとともに、各種学校行事への保護者の積極的な参加を促す。</p> <p>②生徒の健全育成・進路実現のために、保護者の研修の機会を充実させるとともに、生徒の意見も積極的に採り上げ、教育環境の整備を図る。</p> | <p>・保護者に対するアンケート項目「学校からの連絡を読んでいるか」の回答は「大変良い」「おおむね良い」を合わせて90.1%と目標数値を上回ることができた。今後もこの状況を維持・発展することができるよう努めたい。</p> <p>・「教育環境の整備に努力しているか」という教職員への質問については「大変良い」「おおむね良い」を合わせて98%を越える結果が得られた。今後も、高水準を維持できるよう努めたい。</p> | <p>・コロナ禍の中で、保護者への連絡は、より重要となった。プリントとメール配信システムの両方を用い、連絡が密にとれるよう注意喚起を促したい。</p> <p>・教育環境を整備する為には、保護者、教職員、生徒の連携が不可欠である。学校行事等をおしてより良い教育環境が構築できるよう努めたい。</p> |
| 6 図書指導 | <p>①新入生図書ガイダンス、全校一斉読書タイムなどを行い読書への関心を高める。また、カードを利用した読書マラソンにより継続して生徒が読書に親しむように努める。</p> <p>②図書委員会の活動を充実し、各種の取組や委員会だより・新着図書案内などの広報活動により図書館利用の拡充を図る。また新聞記事の紹介・掲示を通じて社会情勢に関心を持たせるよう啓発する。</p> | <p>・全校一斉読書タイムは「非常に良い・おおむね良い」の割合が高く、生徒から非常に良い評価を得ている。</p> <p>・読書マラソンに取り組む生徒も多い。</p> <p>・広報活動や読書啓発について、保護者から高い理解を得ている一方、生徒については個々人の関心の度合いに差があり全体的評価につながっていない。また読書意欲はあっても学校生活が忙しく、読書のための時間が取れない生徒が多いため。今年度は休校措置のため1学期新入生ガイダンス、全校一斉読書タイムが実施できなかった影響は大きいと考えられる。学校再開後の利用状況については放課後・長期休業中における学習場所としての利用は人数・頻度とも大幅に増加している。</p> | <p>・進路実現・自己啓発・話題の本を充実させ、さらに読書啓発をすすめたい。また、生徒の読書習慣は両極化しているため、本を読まない生徒に対して個別の指導をすすめる。</p> <p>・図書委員会からも書籍や新聞記事紹介など、生徒による広報活動を行い、図書館利用を促進する。また図書館活動が読書啓発だけでなくことを周知し、日常的な学習の場として利用を呼び掛け図書館利用の促進を図る。</p> |
| 7 教育相談 | <p>①相談室連絡会、学年会、はぐみ委員会など全校協力体制のもと、問題の早期発見解決に努める。</p> <p>②生徒へのアンケート、生徒理解のための研修会などを通して、生徒を正しく理解できるよう努める。</p> | <p>・関係の先生方と連携を密にし、情報交換と指導方針の確認を行うことで、必要に応じて外部機関とも連携しながら、相談室登校や気がかりな生徒の支援を行うことができた。</p> <p>・意識調査アンケートを定期的実施し、その結果をふまえて、関係の先生方と連絡を取りながら、生徒理解に努めた。</p> <p>・Q-U分析と教職員研修を通じて、クラスにおける生徒の状況把握を深めることができた。</p> | <p>・担任や養護教諭等の関係職員との連携を密にし、生徒の状況を的確に把握し支援できる行内体制づくりをすすめ、生徒にとって居心地の良い環境づくりをさらに進めていきたい。</p> <p>・研修会の一層の充実を図り、職員全体の課題を発見し、教育相談的アプローチの質と能力の向上につとめる。そのために、研修会の内容・日程について検討し、早めに予定を告知し、より多くの参加が可能ないように企画する。</p> |
| 8 社会人への準備 | <p>①学校生活の様々な場面を活用して、自分の生き方を真剣に考え、人生を主体的に生きる態度の育成に努める。</p> <p>②教育活動全体を通して、ビジネスマナーやコミュニケーション能力の育成を図る。</p> | <p>・社会情勢などに関心を持つ生徒が76.9%で、特に3年生は高く80.6%で昨年を上回っている。SNS等で様々な情報を得ているようだが、情報収集力とともに多くの情報を論理的に取捨選択できる情報判断力をつけさせる必要がある。</p> <p>・コロナ禍でも学校行事に対する取り組みでは、意欲的・主体的に参加し96.3%の生徒が行事等の活動に充実感を感じている。特別活動の指導と教科学習指導とのバランスを配慮することが必要である。</p> <p>・清潔感のある身だしなみを心がけている生徒は98.9%とほとんど全員である。今後は容儀検査の必要のない学校を目指し、さらに積極的な生徒指導を展開していきたい。</p> | <p>・ビジネスマナーやコミュニケーション能力の重要性については、「ようこそ先輩」等の体験を通じて実際に実感させることが重要であると考えられる。今後は、振り返りなどを充実させていきたい。</p> <p>・社会的な問題やニュースに興味関心を持つよう、ロングホームや主権者教育の充実を図り向上させていきたい。</p> <p>・生徒会活動では今年度は、医療従事者への募金活動や、学校祭の運営を生徒会が中心で行った。今後も学校行事など様々な場面を活用し生徒の主体的な活動を取り入れ、さらなる充実を図りたい。</p> |
| 業務改善 | <p>①ノー残業デーを導入し、会議・行事の精査、簡素化、削減を図る。</p> <p>②本校「部活動に係る活動方針」に則り、効果的、効率的、合理的な部活動を目指す。</p> | <p>・ノー残業デーを在校時間管理表に計画・設定を毎月必ず行っている教職員は90.0%で、学校業務改善に取り組んでいる。</p> <p>・部活動「年間計画」を作成している教職員は98.1%とほとんど全員で、効果的、効率的、合理的な部活動を行っている。</p> | <p>・来年度以降も学校業務改善及び勤務時間管理を積極的に進め、働き方改革を推進させていきたい。</p> <p>・本校「部活動に係る活動方針」に則り、効果的、効率的、合理的な練習方法を取り入れ、質の向上を目指していきたい。</p> |